

中高生世代の声を市政に伝える事業「Teensムサカツ」の活動が今年度も始まりました！運営は引き続きNPO法人文化学習協同ネットワークが担います。8/25（月）に行われた初回の様子をお伝えします。

仲間に出会う

今年度のムサカツは8月～12月の全5回で行われます！

午前中の活動は、担当課の児童青少年課長からのごあいさつ、運営団体からの概要説明のあと、たっぷりの「アイスブレイク」を通して交流しました。その中の一つ、「うそつき自己紹介」は、自己紹介の中に一つだけ「うそ」を入れて話してもらい、どれが「うそ」かあてるゲーム。「〇〇やってそうだな～」「バスケットやってるって、ポジションは？」…お互いに質問しあい、おしゃべりが盛り上がっていました。ただ、登録者24名のうち、初回は欠席者が多かったため、次回から新しい仲間が多く加わるといいなと思っています。



テーマに出会う

「こんなまちになったらいいな」を考えてみる！

今年度の全体テーマは「”こんなまちになったらいいな”を市政に」。話し合いの小テーマは、中高生世代の声を市政に活かすために、市各課から提案する形式にして、「中高生世代の相談(児童青少年課)」「多世代交流(高齢者支援課)」「中高生世代が利用しやすい公園(緑のまち推進課)」の3つを出してもらいました。活動するテーマを決めるために、各課の職員さんに説明してもらい、テーマごとに分かれておしゃべりしました！

“相談”テーマ

中高生の「困った！」をサポートするには？どんな仕掛けがあったらいい？児童青少年課の佐々木さんを交えて、困りごとを出しあってみました。

“多世代交流”テーマ

高齢者支援課の大橋さんに市内の「テンミリオンハウス」の取り組みについて紹介してもらいながら、交流のアイデアなどをおしゃべりしました。

“公園”テーマ

「みんなはふだん公園に行く？」「どんな過ごし方している？」「どんな公園があったらいい？」中高生の視点から思っていることを出し合ってみました。



その後、希望をふまえてグループ分けを行いました。欠席者が多かったことから、活動するテーマは絞ることに。最終的には、「中高生世代の相談」と「多世代交流」の2テーマに分かれて、今後活動していくことになりました。次回の活動は「フィールドワーク」。テーマごとに市内の施設等を見学しに行き、お話を聞きながらテーマの理解を深めていきます！